

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 その他河川天地川支川1 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名 _____

調査目的及び調査対象 砂防 橋梁・高架

ボーリング名	支川II-No.1	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18' 26.6300"
発注機関	広島県西部建設事務所		調査期間	2021/9/7~2021/9/9	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 48.47m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東
総削孔長	10.00m	度	0°	地盤勾配	0° 水平 鉛直 90°
使用機種	試錐機		東邦D1-C		エンジン
			ヤンマー-NFD-12型		ポンプ
					東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日					
											深度-N値図						深	試料採取番号			採取方法				
1	48.02	0.45	礫混じり砂	礫混じり砂	黒~褐				工事用道路の盛土。表層はアスファルト及び砕石、細砂主体。細~粗砂主体。有機質である。細粒分混じり。GL-0.7~1.0m間にL=3~5cmの硬質な花崗岩玉石を混入する。全体にφ2mm程度の礫を含む。	9/8 2.80	13	1.15	5	5	3	13									
2	46.67	1.80	玉石混じり砂	玉石混じり砂	濃茶	rd3			細~粗砂主体。細粒分混じり。GL-2.7m付近にL=2cmの玉石を混入する。玉石は硬質な花崗岩である。全体にφ2~5mmの礫を含む。礫径は最大φ40mm程度で、亜角礫が主体である。	9/8 2.80	13	2.15	2	3	8	13									
3			玉石混じり砂	玉石混じり砂	茶褐	rd3						25	3.15	10	7	8	25								
4	44.11	4.38	玉石混じり砂	玉石混じり砂	茶褐				L=5~20cmの花崗岩玉石が多く混入する。礫が混じり、一部風化した玉石が混入する。礫径はφ2~10mm程度のものが全体的に含まれる。最大φ50mm程度。GL-4.4m付近に木片混入する。			50	4.15	10	35	5	50	210							
5	42.42	6.03	風化花崗岩	風化花崗岩	淡灰褐				DM級の風化花崗岩。土砂状で採取される。玉石の混入が認められる。風化した粗粒花崗岩。GL-9.2mまで、DH級を呈し、片状~礫状で採取される。全体的に密着亀裂が多数発達する。GL-8.8m付近、部分的に礫状となり脆弱である。GL-9.2mより、CL~DH級となる。ハンマー打撃により濁った金属音を発する。GL-10.0m付近は礫状となり、脆弱である。			50	5.15	50				50	50						
6	41.67	6.80	花崗岩	花崗岩	茶褐							50	6.05	17	33		50	190							
7												50	6.24		90		50	190							
8												50	7.00	貫入不能			50	0							
9												50	8.00	貫入不能			50	0							
10	38.47	10.00										50	9.00	貫入不能			50	0							
11												50	10.00	貫入不能			50	0							